

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	043	学習機会の提供と環境づくりの推進				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	市民と行政、事業者が協働してつくりあげた学習の場や多様な学習機会を通じて、高齢者の社会参加や世代を超えた地域交流活動が行われ、「学び返し」により、地域教育力が向上しています。 また、ボランティア人材の発掘と育成を行うことで、学習した成果を活かしながら、市民自らが地域の課題解決に取り組むとともに、生涯学習の担い手として携わるなど、市民の活躍によるまちづくりが進められています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	323,333,000	292,453,000	275,516,000	443,981,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	1,651,000	1,534,000	1,360,000	1,493,000		
市債	0	0	0	0		
その他	0	14,200,000	0	157,000,000		
一般財源	321,682,000	276,719,000	274,156,000	285,488,000		
予算現額	323,648,000	327,214,000	300,586,000	0		
決算額	320,757,526	322,644,517	292,144,324	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	1,448,000	1,356,000	1,016,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	0	3,200,000	0	0		
一般財源	319,309,526	318,088,517	291,128,324	0		
執行率	99.1	98.6	97.2	0.0		
(人件費)						
職員数	4.67	5.08	5.08	0.00		
職員人件費	35,847,579	39,949,257	40,802,331	0		
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
嘱託員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	1,278,909	1,127,443	1,236,936	0		
総コスト	357,884,014	363,721,217	334,183,591	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
生涯学習講座への参加者数	64,808	実績	61,651	54,729	-	-	80,000
	人	達成率	77.1	68.4	0.0	0.0	
生涯学習センターの利用者満足度	94	実績	94	82	-	-	90
	%	達成率	104.4	91.1	0.0	0.0	
生涯学習サポーター登録者数	68	実績	84	85	-	-	100
	人	達成率	84.0	85.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

- ・講座への参加者数は、学習講座、スポーツ講座の数が指定管理者の運営になって以降概ね順調に推移している。
- ・利用者満足度は、指定管理者が毎年度末に独自調査する利用者アンケート結果に基づく。4段階評価の上位2つ「満足している」、「やや満足している」とした人の割合を合算したもの。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館したため、満足度は前年を下回ってしまった。
- ・生涯学習サポーター登録者数は、基準値を上回っている。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている	目標達成に向け順調に進ちょくしている		
達成できている点	指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者数は高水準を保っている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館したことにより、受講者数が減少したが、指定管理者の行うセミナーは、利用者の支持が得られ、受講者数は高水準を保っている。		
達成できていない点	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っていない。	生涯学習センターの中長期的な維持管理・修繕の計画が立っていない。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
<p>生涯学習審議会は平成15年度にそれまでの社会教育委員の会議、公民館運営審議会、生涯学習推進協議会を統合して発足した。市の生涯学習施策について教育委員会に答申をし、成果を挙げている。また、平成30年度に行った答申をもとに第3次府中市生涯学習推進計画を策定した。</p> <p>公民館事業は、文化生涯学習課と地域コミュニティ課で業務を分担しながら実施し、地域での学習機会の提供の役割を担っている。講座の講師に地元の知識経験者を採用するなど市民協働事業として、また学び返しの実践の場として成果を上げている。</p> <p>心身障害児・者余暇活動支援事業は、主に知的障害のある方を対象とした社会教育事業であり、社会教育・生涯学習の機会を提供するとともに、市民ボランティアが企画・運営を担うことで障害のない人がある人と交流を深める学習活動としても成果を挙げている。</p> <p>生涯学習機会創出事業は、生涯学習センターの管理運営と講座等の事業運営を通して市民に機会を提供しているものであり、平成25年度からの指定管理者制度移行で、サービス水準の向上と収支の改善を両立して実現している。</p> <p>青少年音楽祭は、市内で活動する青少年音楽団体を対象に参加を募り、2日間にわたり合奏の部及び合唱の部に分け、日頃の練習の成果を発表する事業である。令和元年度は合奏の部が19団体、合唱の部が13団体、合計32団体が参加し、過去最多となった平成30年度よりは3団体減少した。</p>
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
<p>国の方針として、社会教育部門が学校教育及び家庭教育を担う保護者等と連携・協働することを求めている。平成30年度に策定した第3次府中市生涯学習推進計画において明らかになった本市の生涯学習の現状や課題を踏まえ、第9期生涯学習審議会でも諮問事項を「第3次府中市生涯学習推進計画の具現化に向けて」としてご審議いただいている。今後審議会からの提言を参考に具体的な施策を検討していく。また、生涯学習センターの老朽化が進行しており、関係課と連携を図り、適切な維持管理・改修工事等を実施して施設の長寿命化を図らなければならない。</p> <p>青少年音楽祭は、毎年多くの青少年音楽団体が参加しており、ニーズの高い事業であるが、観覧者の多くが出演者の関係者であるため、関係者以外の観覧者を増やしていきたい。</p>
今後の展開
<p>生涯学習機会創出事業は、第3次府中市生涯学習推進計画及び生涯学習審議会の意見を踏まえ、地域人材の発掘や活用等を拡充するとともに「学び返し」の実践等を推進していく。</p> <p>地区公民館講座は、各文化センター担当者と各講座内容（受講者の反応や評判の良かったもの等）を共有し、今後の開催に向けて参考としてもらう。</p> <p>心身障害者余暇活動事業は、ボランティアスタッフの高齢化及び活動内容が限られてしまうので、ボランティアの確保に努め、事業にかかわる方の意向調査し、活動内容の充実を図る。</p> <p>生涯学習センターでは、魅力ある講座が提供できるよう、引き続き指定管理者と打合せを行っていく。</p> <p>青少年音楽祭は、出演関係者以外の多くの方に観覧していただけるよう広報等を工夫していく。</p>

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
生涯学習機会創出事業	▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。 ▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。	▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。 ▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。	▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。 ▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。	▼生涯学習センターにおいて指定管理者が講座開催などを行うことにより、講座数の増加や内容の多様化を進める。 ▼民間事業者の持つノウハウを活かして、効果的な広報活動や学習活動の発表の支援を行うなど、市民サービスの向上及び経費削減を図る。
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】
所管部署				
文化スポーツ部 文化生涯学習課				
事業種別				
主要な事務事業	指定管理者はボランティア団体と連携し、多種多様な講座を企画している。オリンピックに関する講座や、有名講師による講堂講座などを実施したことは評価できる。	指定管理者はボランティア団体と連携し、多種多様な講座を企画している。オリンピックに関する講座や、有名講師による講堂講座などを実施したことは評価できる。		
4か年事業費計(単位:千円)				
	1,180,176			
【進捗状況】		【進捗状況】		【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				
【進捗状況】		【進捗状況】		【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 生涯学習審議会運営事業	10		1,267,000	1,140,405	1,476,000	府中市における生涯学習の方向性などの検討。	B	1
2 公民館事業運営事業	20		3,918,000	3,204,687	3,826,000	社会教育法に基づき、实际生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行う。	B	1
3 心身障害児・者余暇学習支援事業	30		1,444,000	988,342	1,478,000	知的障害のある18歳以上及び特別支援学校等の生徒を対象に、社会教育の機会と場を提供する。	B	1
4 生涯学習機会創出事業	30		267,152,000	285,140,641	435,349,000	生涯学習センターの管理運営（講座等の運営含む）・生涯学習ボランティア等生涯学習振興の担い手	B	1
5 青少年音楽祭運営事業	30		1,735,000	1,670,249	1,852,000	青少年音楽祭の開催	B	1
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			275,516,000	292,144,324	443,981,000			

施策評価シート

記載年月	令和2年9月
対象年度	平成31年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	044	図書館サービスの充実				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			担当部署課名	文化スポーツ部 図書館
	基本施策	04	生涯にわたる学習活動の推進			
めざす姿	図書館で収集、整理、保存されている図書や視聴覚資料などの情報を利用して、知的・文化的な生活を営むとともに、レファレンスサービスを利用して、生活上の様々な課題の解決に取り組んでいます。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	763,175,000	770,205,000	791,707,000	814,476,000		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	2,050,000		
市債	0	0	0	0		
その他	1,507,000	5,622,000	13,076,000	15,681,000		
一般財源	761,668,000	764,583,000	778,631,000	796,745,000		
予算現額	763,427,000	773,518,000	791,707,000	0		
決算額	761,187,200	772,079,698	787,212,108	0		
国庫支出金	0	0	0	0		
都支出金	0	0	0	0		
市債	0	0	0	0		
その他	1,442,375	5,519,716	12,944,987	0		
一般財源	759,744,825	766,559,982	774,267,121	0		
執行率	99.7	99.8	99.4	0.0		
(人件費)						
職員数	22.00	22.00	22.00	0.00		
職員人件費	168,995,728	173,008,594	176,703,010	0		
嘱託員数	17.00	17.00	15.00	0.00		
嘱託員人件費	53,046,800	53,140,062	46,363,845	0		
(間接経費)						
間接経費	3,146,425	3,037,766	2,385,201	0		
総コスト	986,376,153	1,001,266,120	1,012,664,164	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
市民1人当たり年間図書等貸出数	8.6	実績	8.1	7.5	-	-	10.2
	点	達成率	79.4	73.5	0.0	0.0	
図書館利用者登録者数	159,871	実績	151,479	147,640	-	-	165,500
	人	達成率	91.5	89.2	0.0	0.0	
レファレンス件数	4,284	実績	4,845	4,843	-	-	4,450
	件	達成率	108.9	108.8	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

市民1人当たり年間貸出数及び図書館利用者登録者数について、基準値に到達しなかったが貸出冊数については3月に新型コロナウイルス感染拡大対策のためサービスを一部休止したことも一因と考える。今後は都内の感染状況をみながらになるが、様々な事業を通じて本に親しんでもらう機会を再開並びに提供し、図書館の利用へつなげていく。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調	やや遅れているが、概ね順調		
達成できている点	インターネットによる予約割合が増えてきている。おはなし会の参加者数について、年度ごとの増減があるが、一定の数値で推移している。	3月以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため館内への立ち入りが一部制限された中、レファレンス件数は前年とほぼ同数であり、基準値は上回っている。webの利用など含めてレファレンスの利用が定着している。		
達成できていない点	貸出数、登録者数ともに減少傾向となっている。ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに関する企画展の実施など、利用や貸出増に向けた事業を実施していく。	貸出数、登録者数ともに減少傾向となっている。国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを平成31年3月より新たに開始したことなど、今後新たな利用者と呼び、貸出数や登録者数に繋げたい。		

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

平成19年度に完成した中央図書館は、PFI方式により建設し、PFI事業者の一部管理運営を委託している。PFI事業者の実施する事業（講習会、朗読会やビジネス支援講座等）とともに、市で実施する各講座、講演会のほか、テーマ展示等を行い、本に親しんでもらえる取組を実施した。平成29年度に実施した図書館情報システム更新と同時期にホームページのリニューアルを図ることで、検索機能の充実とともにインターネット予約の利用を促進できた。同年8月からは、市政情報センターでの図書取次を開始した。

また、平成30年度から始まった第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもの読書活動の総合的かつ計画的な推進を図るため、図書館の資料の充実、来館する児童・生徒への資料提供や調べ物の協力、学校との連携等により、読書の推進を図っている。現在のPFI事業終了後の次期運営手法の検討及び劣化診断調査を実施した。平成31年度は、新たに図書館協議会を設置し市立図書館の今後の運営について答申を提出いただいた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

スマートフォンの普及により、ウェブでの予約の割合が増えるなど、インターネットからの利用が増えていることをふまえ、図書館ホームページを含めた様々な方法で情報発信を行っていく。また、市民生活の環境変化により、市民の要望も多様化している。新たなサービスについては、PFI事業者（民間ノウハウの活用）を含め、情報収集に努めて、対応を検討していく。さらに、第4期府中市子ども読書活動推進計画に基づく事業を行い、子どもの読書活動を推進していく。

今後の展開

ボランティアとの協働により実施している事業については、ボランティアの充実や技術の向上がサービスに直結するため、養成講座等を継続していく。図書館を利用していない人に、来館し利用していただけるよう、魅力ある企画等を行い、PRしていく必要がある。

また、令和4（2022）年9月末にPFI契約が終了するが、令和4年10月以降の図書館運営業務の基幹事業を除く一部運営業務をPFI方式により実施する方向性を示したことから、その適正化について検討・調査を行うなど次期運営方式に向けて適切に実施する。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
中央図書館運営事業	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の検討に向けた調査の実施	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽建物診断調査の実施 ▽次期運営手法の検討	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の導入に向けた調査	▽市及び事業者の特集展示の実施 ▽市主催事業（「科学あそび」、講演会）の実施 ▽事業者主催事業（朗読会、講演会等）の実施 ▽次期運営手法の導入に向けた準備
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 図書館				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	37,240			
地区図書館運営事業	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討	▽全館での資料の充実 ▽全館共通展示の実施 ▽各館独自での事業の実施 ▽YAコーナーのPR・利用促進 ▽学校との連携強化 ▽地域に根差した地区図書館を目指す ▽宮町図書館の新庁舎への移転についての検討
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 図書館				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	301,260			
レファレンスサービス事業	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベースのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内 ▽国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内	▽レファレンス講座の実施 ▽レファレンス研修の実施 ▽都立図書館研修への参加 ▽データベース及び国立国会図書館デジタル化資料送信サービスのPR・利用促進 ▽OPACの検索案内
【進捗状況】	目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 図書館				
事業種別				
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
	2,988			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H31年度		R 2年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 中央図書館運営事業	30		15,095,000	14,111,449	17,765,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
2 中央図書館複合施設整備等事業	30		662,324,000	662,270,663	671,467,000	中央図書館の複合施設整備等事業費の債務負担行為解消分	B	1
3 図書館維持管理事業	30		35,864,000	34,635,437	39,054,000	図書館施設の清掃及び施設整備の保守、安全業務	B	1
4 地区図書館運営事業	30		75,482,000	73,930,948	83,324,000	利用者の読書の楽しみや学習意欲を促進・対応するサービス運営	B	1
5 レファレンスサービス事業	30		1,136,000	594,946	1,147,000	レファレンスサービスの充実と、きめ細かい読書相談の運営	B	1
6 児童・青少年サービス事業	30		627,000	606,012	613,000	子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付けて、人生をより豊かに生きることを目的としての運営	B	1
7 ハンディキャップサービス事業	30		1,179,000	1,062,653	1,106,000	通常の図書館利用が困難な利用者に対するサービス運営	B	1
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			791,707,000	787,212,108	814,476,000			